しらかみ
白神山地を背に営む農業と生活の応援団
March 2021
vol.269

Contents

02 Contents・今月の表紙
03 特集① 米紙袋エコバッグ作りにチャレンジしてみよう!
04 特集② 令和3年度 白神農畜産物60億円販売達成を誓う
08 稲作・畑作営農情報
10 あきた白神トピックス
12 西高校生レポート
14 支店を拠点とした協同活動の取り組み／直売所ニュース
15 ＴＡＣ耳寄りプチ情報
16 キャッシュレス化始めました！
17 おたより・クロスワード
18 ＪＡあきた白神からのお知らせ
20 Mama'sキッチン

大好評!! 広報しらかみハイライトムービー

毎月、広報しらかみ編集時にはたくさんの写真を撮影します。紙面の都合上、本誌では伝えきれなかった場面をご紹介します！
右記ＱＲコードを読み取りご視聴ください。
目指すは動く広報誌!!

今月の表紙

【能代市落合地区】
田村　翼さん・舞子さんの
長男・次男
田村　武寿（たけひさ）くん（7歳）
亮太（りょうた）くん（5歳）

縄跳びも上手に飛べるようになってきた武寿くんはアグレッシブな反面、ペンを持たせると文才の素質をチラり。武寿先生が書き下ろした『子ブタシリーズ』と題したマンガ5作を見せてくれました。もちろん将来の夢は売れっ子漫画家です！
お母さんのスパゲッティーが大好物の亮太くんは、お兄ちゃんやお友達と“たたかいごっこ”をして元気いっぱい駆け回るわんぱく盛り。砂遊びや、プール遊びなど外で元気に遊べる暖かい季節が待ち遠しいご様子。ご両親の願いとおり、明るくのびのびと成長中の仲良し田村兄弟でした。

特集 #プラゴミ削減 #米消費拡大 #ステイホーム #産地PR #逆にオシャレ

米紙袋エコバッグ作りにチャレンジ してみよう!

～JAあきた白神女性部 から元気発進～

熱心に作業に打ち込む女性部員

講師役になった藤田　さんとＪＡ職員

出来上がりに満足

女性部二ツ井支部役員20人は2月16日、米紙袋を利用したエコバッグ作りに挑戦しました。女性部員らは普段は不要となり捨ててしまう米紙袋の再利活用方法と、エコの大切さを学びました。

同企画は生活課大塚美幸主査が、昨年の日本農業新聞に「米紙袋エコバッグ」の作成記事が掲載されていたことに着目したことがきっかけ。

同支部でも作成してみてはどうかと支部役員会に提案したところ、藤田ひな子さん（二ツ井町種梅地区）が更に強度を増した改良版の米紙袋エコバッグを作成・活用していたことから、今回の企画が実現しました。

参加者からは「普段見慣れた米紙袋もバッグになればデザインがかわいいと思う。今度スーパーにこのバッグを使って買い物に行ってみる」と笑顔で話していました。中には、米紙袋に印字されている「美人を育てる秋田米」の「美人」という文字が、作成の過程で隠れてしまうことに残念がる部員もいましたが、完成したオリジナルエコバッグを片手にご満悦な表情を浮かべていました。

２０２０年7月から始まったプラスチック製買い物袋（レジ袋）の有料化に伴い、エコバッグの利用が普及・定着していることから、今後は、今回参加した支部役員が講師役となり、各地区の女性部員にエコバッグの作り方を広めることにしました。

今月の特集では、「米紙袋エコバッグ」の作り方をご紹介。皆さんもコロナ禍で〝おうち時間〟が多くなっていると思います。是非とも挑戦してみてください。日本国内の各産地の米紙袋を収集し作成してみるのも楽しいかも…

Let's make a 米紙袋エコバッグ!

【用意するもの】

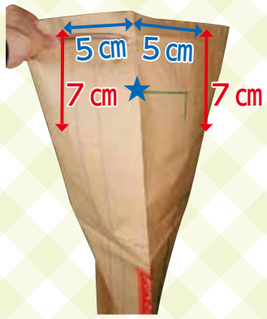
- 米紙袋（30kg）
- クラフトの紐（１ｍ）
  【12本を10本にしたもの】
- 定規
- はさみ
- えんぴつ
- 目打ち
- 洗濯ばさみ
- セロハンテープ
- マジック

◎作　り　方

❶米紙袋の上についている紐をはずす。

❷米紙袋の下から31㎝の場所で折り、しっかりと折目をつける。

❸下の図の赤線のような切れ目をいれる。



❹②でつけた折目に合わせて内側に織り込む。

❺底の部分を整える。(③で切れ目をいれた★の部分を下に入れる)

❻上から４㎝の部分を外側に折る。

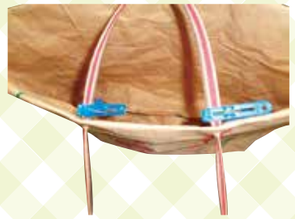
❼幅を図り中心をきめ、左右に６㎝の場所に印をつける。

❽⑦で印をつけた場所に目打ちで穴を開ける。

❾クラフトの紐を半分に切る。さらに半分に折り、中心から14㎝場所に印をつける。

❿クラフトの紐の先をセロハンテープで巻いて硬くし、⑧で空けた穴に通す。
または、紐の先を斜めに切り、半分くらいに折り穴に通す。

⓫⑨でつけた印の場所に洗濯ばさみをつけ、紐の長さを調整する。



⓬紐の外に出ている部分を揉んで柔らかくしてから結び、いらない部分を切る。

女性部って、どんなことしているの?

食や健康、自分達がやりたいと思うことを、自由に、自主的に活動しています。
小学校の児童らに食と農の大切さを伝える食農教育活動を行ったり、料理や手芸などの講座や消費者として安全安心を学んだりしています。

だれでもはいれますか?

ＪＡあきた白神管内（能代・二ツ井・藤里）にお住いの方であればお気軽に参加、加入出来ます。
ＪＡの組合員、農家であること、年齢などの制限はありません。
ご近所の方や、お友達をお誘い合いいつでもご相談ください。

年会費はいくら?

年会費は500円ぽっきりです。
但し、材料費程度をいただくこともあります。

JAあきた白神女性部からのお知らせ

ＪＡあきた白神女性部が目指すもの

皆が安心して暮らせる地域社会作りを目指すこと、
私たちの“ＪＡあきた白神”に女性の声をもっと反映していくこと…
出来ることから始めましょう。
一人の力は小さいけれど、仲間と取り組めば大きな一歩・大きな力になります。

感動できる明日に向かって私たちと、新しい風を吹かせてみませんか？

お問い合わせは…
JAあきた白神女性部事務局【経済部 生活課　0185−58−2154】
または、最寄りのＪＡあきた白神各事業所まで